News Release

2022 年 3 月 15 日

GROOVE X 株式会社の株式譲渡について

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又 幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する GROOVE X 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：林 要、以下「GROOVE X」）の株式の全部を株式会社前澤ファンド（本社：東京都港区、代表取締役：前澤友作、以下「前澤ファンド」）に譲渡することを決定し、このほど譲渡が完了したのでお知らせします。

GROOVE X 株式会社について

設立　：2015 年 11 月 2 日
本社所在地　：東京都中央区
代表者　：代表取締役社長　林 要
事業内容　：LOVE をはぐくむ家族型ロボット「LOVOT（らぼっと）」開発事業
URL:　：https://groove-x.com/

株式会社前澤ファンドについて

設立　：2020 年 2 月
本社所在地　：東京都港区
代表者　：代表取締役社長　前澤友作
事業内容　：前澤氏が個人資産をもとに設立したベンチャー投資ファンドで、「社会課題の解決」や「趣味の追求」を事業テーマに掲げる起業家や団体に対して出資
URL:　：https://www.mzfund.co.jp/

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。
URL：http://www.incj.co.jp/

【別紙】

１．対象会社

・事業者名：GROOVE X 株式会社
・設立　　：2015 年 11 月 2 日
・所在地　：東京都中央区
・代表者　：代表取締役社長　林 要
・事業内容：LOVE をはぐくむ家族型ロボット「LOVOT（らぼっと）」開発事業
・URL　　：https://groove-x.com/

２．支援決定内容

・支援決定公表日：2017 年 12 月 4 日
・支援決定金額　：35 億円（上限）
・実投資額　　：35 億円（3 回に分けて投資）
・プレスリリース：未来創生ファンドと産業革新機構を筆頭に GROOVE X の新世代家庭用ロボット「LOVOT™」開発に向けて第三者割当増資に関する投資契約を締結
https://www.incj.co.jp/newsroom/INCJ_GROOVEX_20171204.pdf

３．経緯

（1）出資の経緯

GROOVE X は、従来型ロボットのように人々の仕事を代行する機能的な存在ではなく、人に寄り添い癒しを提供することで、人々のパフォーマンスや生活の質を向上させる新世代家庭用ロボットの開発を目的に 2015 年に設立されたベンチャー企業。
INCJ は、高齢化・核家族化・共働き化が加速度的に進み、心の悩みや独居による弊害などが社会問題化する中、本製品の開発は、効果的なヘルスケア・メンタルケア・見守りによる問題解決への寄与が期待されることから、2017 年 12 月、GROOVE X に対し 35 億円（上限）の支援を行うことを公表した。

（2）事業の進捗

INCJ の出資後、GROOVE X は、2018 年 12 月、LOVE をはぐくむ家族型ロボット「LOVOT」として製品発表を行い、翌 2019 年 8 月より販売を開始した。製品発表後、国内外を問わず数々のアワードを受賞し、そのコンセプトや提供価値が高く評価されている。
近年はコロナ禍におけるメンタルケア、情操教育、プログラミング教育などの観点からも注目されており、全国の保育園、こども園、小学校などの教育施設や介護施設、企業などにも導入されている。

（3）Exit の経緯・内容

初回投資から 4 年が経過し、GROOVE X の更なる事業成長について協議を重ねてきたとこ

ろ、社会課題解決策としての家族型ロボット事業に対して高い関心を持たれた前澤友作氏から、同事業への参画の意思を頂いた。INCJ は、この革新的な家族型ロボットの更なる事業展開を実現するためには、前澤氏の参画が最適であると判断し、同氏が代表を務める前澤ファンドに、保有する GROOVE X の株式の全部を譲渡することとした。

４．主務大臣（経済産業大臣）意見

本案件は、先進的なロボティクス技術を結集したこれまでにない革新的な家庭用ロボットの開発・普及により、高齢化や共働き化が加速度的に進む我が国の社会課題解決に挑戦する取り組みに対して、資金面・経営面から支援を行うものである。

貴社は、筆頭株主として本案件の出資先企業の資金調達活動や株式譲渡に至るまでの過程に主体的に関わる中で、出資先に対するガバナンスのあり方や消費者向けビジネスへの対処にあたり配慮すべき事項等、把握された課題について改めて検証し、今後の産業革新投資機構の投資活動に活かすことを通じて、我が国の産業競争力の強化に貢献されたい。

＜本発表資料のお問い合わせ先＞

株式会社 産業革新投資機構　経営企画室 広報　　入江、野々宮（報道関係）
東京都港区虎ノ門 1-3-1　東京虎ノ門グローバルスクエア
電　話：03- 5532-7086　　URL：https://www.j-ic.co.jp/jp/
https://www.incj.co.jp/